

第3章

基本的な取り組み

1 学習機会の提供

(1) 学習内容の充実

現状からの課題

【ヒアリング結果から導き出された課題】

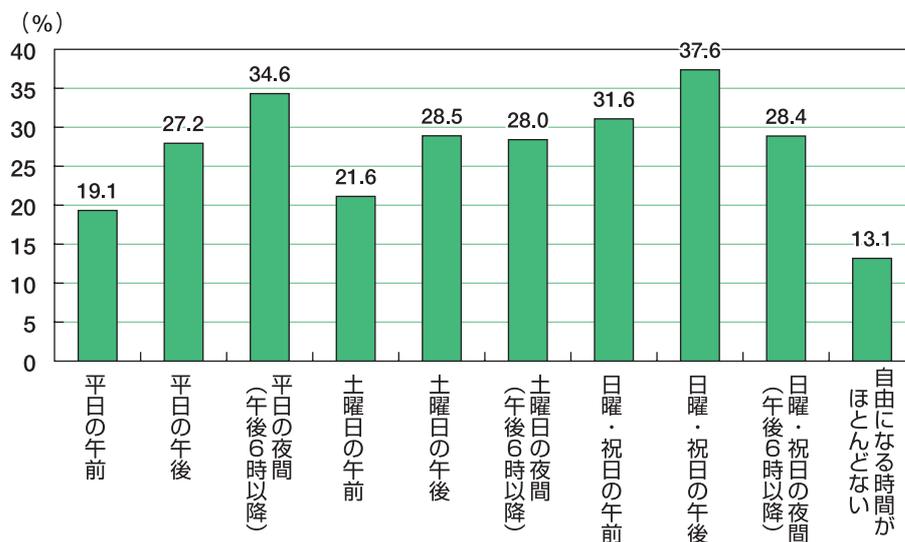
生涯学習を始めるにあたって、きっかけづくりが第一歩です。生涯学習を初めて行う人に対するきっかけづくりとしての学習の充実や既存のサークルに入会するきっかけが求められています。

また、すでに生涯学習を行っている人に対しては、他のクラブの活動を紹介したり、地域間の交流により、生涯学習の内容を深めていくことが大切です。

一方、合併前の旧市町村によって、行事や取り組み方に違いがあります。こうした今までの取り組みの違いに対する対応が必要です。

【アンケート調査結果から導き出された課題】

様々なライフスタイルの市民が生涯学習を行っていく上で、学びたい時間帯、就業状況などに合わせた時間帯での学習の提供が必要です。



有効回答数：1659件

図 自由になる時間帯

第3章 基本的な取り組み

1 学習機会の提供

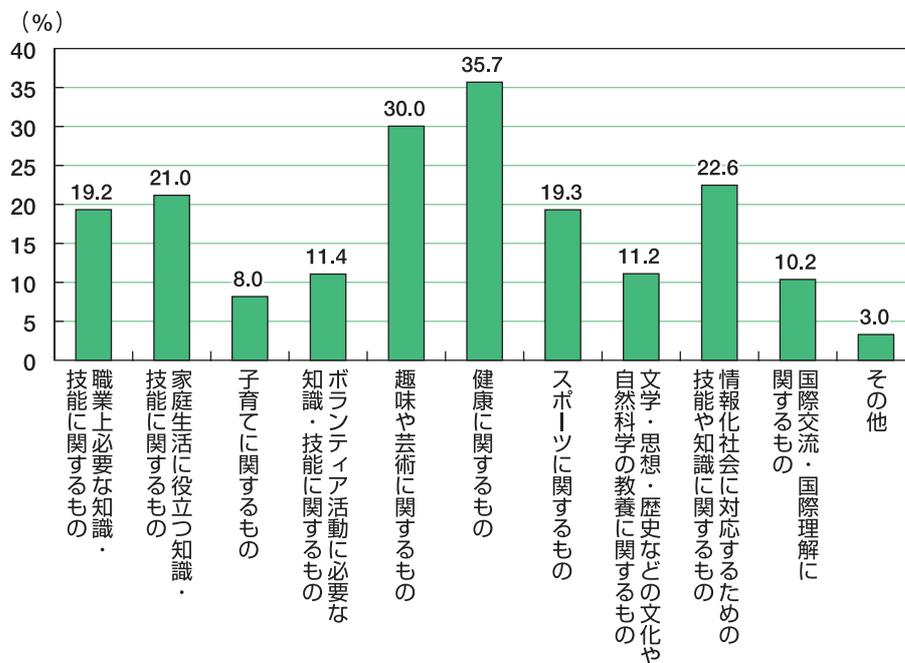
学習内容についても、20歳代、30歳代においては、職業に活かせる内容、子育てに関する内容の学習提供が求められており、各々のライフステージにあった学習の提供や学習の充実が必要です。また、世代にかかわらず、健康に関する学習が求められています。

行っている生涯学習の内容

(単位：%)

	有効回答数(件)	職業上必要な知識・技能に関するもの	家庭生活に役立つ知識・技能に関するもの	子育てに関するもの	ボランティア活動に必要な知識・技能に関するもの	趣味や芸術に関するもの	健康に関するもの	スポーツに関するもの	文学・思想・歴史などの文化や自然科学の教養に関するもの	情報化社会に対応するための技能や知識に関するもの	国際交流・国際理解に関するもの	その他	特にない	無回答
全体	1,659	13.7	10.2	5.3	4.4	21.5	18.9	13.0	6.3	11.8	2.8	3.9	36.9	4.4
20歳代	166	25.9	10.8	8.4	3.0	17.5	12.7	14.5	1.2	13.3	4.8	3.6	40.4	0.0
30歳代	239	25.9	13.8	19.2	2.5	18.8	8.4	15.9	4.6	16.3	2.5	2.1	36.0	1.3
40歳代	288	17.4	6.6	4.5	3.1	17.0	14.6	21.5	5.9	14.6	1.7	1.4	41.7	1.0
50歳代	323	13.0	10.8	2.2	4.6	24.8	22.6	13.3	6.2	13.9	4.3	1.2	38.4	3.1
60歳代	315	5.1	9.2	1.3	5.7	27.3	27.3	7.0	7.6	8.9	2.5	4.4	35.2	5.1
70歳以上	319	4.7	11.0	1.3	6.3	21.0	22.6	8.2	9.7	6.3	1.9	9.7	32.6	10.0

また、市や団体による講座・教室などの提供についての地域差の是正が求められています。さらに、地域のつながりの希薄化や少子高齢化の進展による家庭や地域の教育力の低下に対して、その向上につながる学習の提供が求められています。



有効回答数：1659件

図 今後、学びたいこと

【上位計画などからの課題】

近年の都市化、核家族化、少子化などによる家庭の教育力の低下への対応、団塊の世代の高齢化による高齢者の増加に伴う医療費などの社会保障関係経費の増加などの問題への対応が求められる中で、生涯の成長段階において最低限持つべき「人間力」が何かを認識することと、各段階において人間力を高めていくための契機となる場を提供することなど、何をすべきかを共通理解していくことが求められています。

産官学の連携が叫ばれる中で、地域の大学や企業などとの連携による専門性の高い学習、職業につながる学習の提供が求められています。

基本的方向

- 1) きっかけづくりとしての生涯学習の提供
- 2) ライフステージに応じた生涯学習の充実
- 3) 身近な地域における学習の充実
- 4) 様々な連携による学習の充実

施策の展開

1) きっかけづくりとしての生涯学習の提供

生涯学習活動への参加を広めていく上で、生涯学習に触れる機会づくりを促進します。

●生涯学習に触れるきっかけづくり

【市の取り組み】

- ・SEKIいきいきフェスタやふれあいセンターの文化祭などの発表会を広く市民に周知し、生涯学習を行っていない人の参加を促進します。

【市民に期待すること】

- ・SEKIいきいきフェスタやふれあいセンターの文化祭などの全市的な発表の場や地域での発表の場に主体的に参加し、生涯学習に関心を持つこと。



SEKIいきいきフェスタ

2) ライフステージに応じた生涯学習の充実

ライフステージに応じた学習ニーズを積極的に取り入れ、講座などの学習提供を充実します。

●ライフステージに応じた学習の提供

【市の取り組み】

- ・子育て教室や健康教室など、ライフステージに応じた学習提供の充実に努めます。

【市民に期待すること】

- ・主体的に学習に取り組むとともに、各世代の市民が生涯学習に対する要望を積極的に発信すること。

●ニーズにあった時間帯、学習の充実

【市の取り組み】

- ・統一した「実践の記録書」を作成するなど、講座の内容を総合的に検証し、住民ニーズにあった学習機会の充実に努めます。
- ・市民が企画、運営した講座を支援し、多様な学習機会の充実に努めます。

【市民に期待すること】

- ・生涯学習に対する要望を積極的に発信すること。

●職業に活かせる学習の充実

【市の取り組み】

- ・資格取得につながる学習機会の充実や情報提供に努めます。
- ・企業と連携した学習の提供に努めます。

【市民に期待すること】

- ・主体的に学習に取り組むとともに、職業に活用できる学習要望を積極的に発信すること。

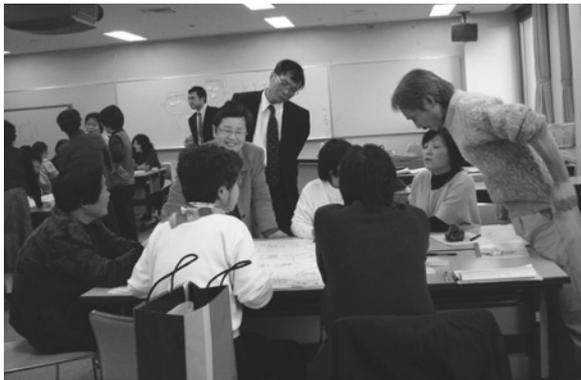
●今日的課題に適応した学習の充実

【市の取り組み】

- ・男女共同参画や児童虐待に関する問題など、今日的な社会問題に応じた学習提供の充実に努めます。
- ・団塊世代の退職後の生きがいづくりとしての学習提供の充実に努め、地域力を高めます。

【市民に期待すること】

- ・今日的な社会問題や課題に興味を持ち、学習意欲の向上に努めること。
- ・今日的な社会問題や課題に取り組んでいるサークルなどから、情報発信を積極的に行うこと。



関塾・生涯学習とまちづくり



乳幼児期家庭教育学級

3) 身近な地域における学習の充実

身近な地域での学習提供を充実し、学びやすい環境をめざします。また、地域の文化や地域性を活かした学習の提供に努めます。

●地域による学習機会の差の是正

【市の取り組み】

- ・生涯学習センター間の情報交換を強化し、各地域における学習提供を充実します。

【市民に期待すること】

- ・地域内での情報発信、交流を行うなどして、地域ぐるみの学習活動に努めること。

●地域に根ざした生涯学習の提供

【市の取り組み】

- ・地域性など地域の実情に応じた時間帯、場所での学習の提供に努めます。
- ・自治会など地域組織と連携した学習の提供に努めます。

【市民に期待すること】

- ・地域の文化を大切にし、継承していく意識の向上に努めること。

●家庭や地域の教育力の向上に向けた学習の充実

【市の取り組み】

- ・地域での助け合いなど地域福祉の向上に向けた学習の提供に努めます。
- ・家庭教育や家族のあり方などを題材とした学習の提供に努めます。

【市民に期待すること】

- ・学んだことを地域での助け合いや支え合いなどに積極的に活かすこと。

4) 様々な連携による学習の充実

市内や周辺都市の高等教育機関や企業との連携を図り、より高度な学習や職業につながる学習提供を充実します。また、庁内や地域の中核施設との連携を強化します。

●中部学院大学、岐阜医療科学大学など高等教育機関との連携

【市の取り組み】

- ・大学などにおける単独での公開講座の開設を促進するとともに、関市との連携による講座のあり方などを検討する場の設置に努め、これまで以上に連携を図ります。
- ・岐阜大学など、県内の大学とも連携・協力して、市民への高度・専門的な学習機会の提供に努めます。

【高等教育機関に期待すること】

- ・リカレント教育に積極的に取り組むこと。
- ・リカレント教育の意義を積極的に普及啓発すること。



市民公開講座（中部学院大学）

●企業との連携による学習提供

【市の取り組み】

- ・市内の企業と連携し、モノづくりの文化の継承やテクノロジーの情報発信につながる学習の提供に努めます。

【企業に期待すること】

- ・社会貢献や地域還元の観点から、さらに生涯学習への取り組みを充実すること。

●庁内組織の連携の強化

【市の取り組み】

- ・全庁的な取り組みとして、講座やイベントなどの情報をホームページにより提供する仕組みづくりを進め、学習情報の統一的な発信に努めます。

●中核施設への指導者の配置

【市の取り組み】

- ・生涯学習相談体制を充実するとともに、地域の生涯学習の振興を図る生涯学習推進員の配置を進め、生涯学習相談員との連携を強化します。

(2) 学習の場の確保

現状からの課題

【ヒアリング結果から導き出された課題】

市町村合併によって、公民館や生涯学習センターなどの予約手続きが複雑化した面があり、その改善が求められています。会場経費の負担などについても、旧町村地域において、メンバーが少なくなったサークルなどの負担軽減が求められています。

また、現在、福祉センターなどにおいても、学習活動が行われていますが、さらに、地域活性化センターや集会場など、様々な地域資源を活用した学習の場の提供が求められています。

さらに、学習の場の提供に併せて、講演会などにおける託児サービスの提供など学習しやすい環境づくりについての支援も求められています。

【アンケート調査結果から導き出された課題】

生涯学習センターの利用促進など、身近な地域に根ざした学習の場の提供が求められています。さらに、旧町村の山間地域においては、地域の生涯学習センターまでの距離も長く、身近な学習の場の確保も必要です。

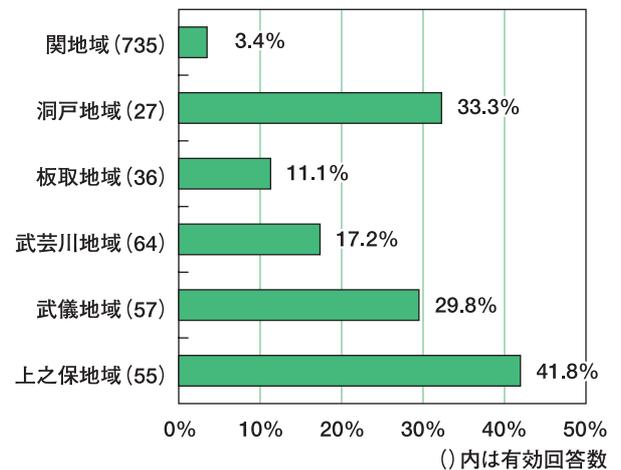


図 地域別に見た生涯学習センターの利用状況

また、生涯学習を行ったことのない人に対して、生涯学習と接する機会づくりが重要であり、身近な学習の場を紹介することが生涯学習を普及していく上で、大切なこととなっています。

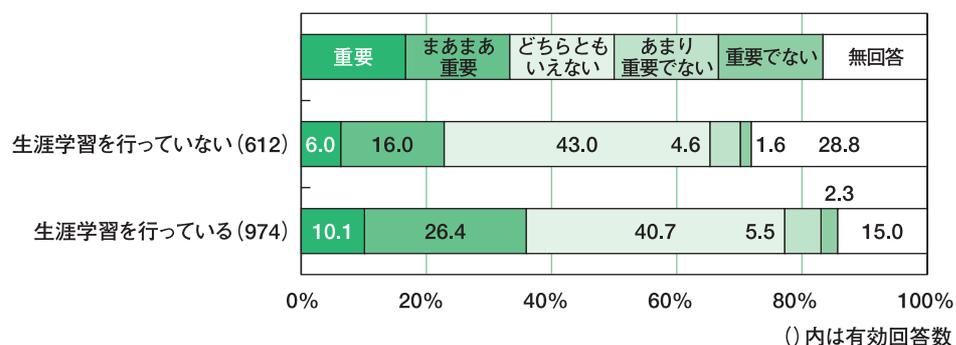


図 学んだことを発表できる機会に対する重要度

【上位計画などからの課題】

公民館、図書館などの社会教育施設の住民サービスの向上及び高度情報化を図るとともに、社会教育施設間のネットワーク拡充が必要となっています。

特に、公民館などについて、人間力向上などを中心としたコミュニティのためのサービスを総合的に提供する拠点としての役割が求められます。

基本的方向

- 1) 地域における学習拠点の充実
- 2) 社会教育施設の充実
- 3) 身近な場での学習支援

施策の展開

1) 地域における学習拠点の充実

地域における学習拠点として、公民館、生涯学習センター、ふれあいセンター、公民センター、集会場などがあります。こうした学習の場がより学習しやすい場となるように活用の促進を図ります。

●公民館の役割

【市の取り組み】

- ・公民館の本来の目的を達成するため、講座のあり方の再点検をするとともに、公民館的社会教育施設であるふれあいセンターや生涯学習センターなどとの連携・協力を図り、特色ある効果的な実践活動が実施できるよう努めます。

【市民に期待すること】

- ・恵まれた学習環境を十分に活かし、講座などをきっかけにグループをつくり、さらに高める学習を行うこと。

●生涯学習センターの役割と推進エリア

【市の取り組み】

- ・旧町村地域においては、地域性が高く、生涯学習の推進においても特徴があるため、今後も、各生涯学習センターを核とした生涯学習の推進を図ります。
- ・各生涯学習センターにおける生涯学習推進エリアの見直しを検討します。
- ・生涯学習センターの運営について、地域住民の参画を促します。

【市民に期待すること】

- ・生涯学習センターの運営に対して積極的に参画すること。

●ふれあいセンターの活用促進

【市の取り組み】

- ・ふれあいセンターを核とした生涯学習の推進を図ります。
- ・身近な学びの拠点であるふれあいセンター運営の充実を図るとともに、中央公民館・ふれあいセンター間のネットワーク化を進め、幅広い学習情報の提供と地域における主体的な学習活動を支援します。

【市民に期待すること】

- ・ふれあいセンターを地域の生涯学習活動実践の場として十分活用すること。

●公民センター、集会場の活用促進

【市の取り組み】

- ・公民センターをもっとも身近な学びの施設として、地域における主体的な学習活動を支援します。
- ・中山間地における学習の場として、集会場などの活用を促進します。

【市民に期待すること】

- ・身近な学びの施設として十分活用すること。

2) 社会教育施設の充実

広域的なネットワークを構築し、多様な学習機会を提供します。また、公民館や図書館などの高度情報化を推進し、市民が様々な社会教育施設を利用しやすくします。

●社会教育施設のネットワークの構築

【市の取り組み】

- ・公民館、文化会館、図書館などの社会教育施設のネットワークを強化し、学習機会の充実に努めます。
- ・岐阜県立博物館など、県や他市町村の生涯学習施設との連携に努めます。

●公民館、図書館などの高度情報化

【市の取り組み】

- ・市民ニーズに対応した図書館運営に努めるとともに、本館と分館などの図書館施設とのネットワークの充実に努めます。

●社会教育施設の利用料金、手続き方法などの検討

【市の取り組み】

- ・社会教育施設の利用手続きの簡素化に努めます。
- ・社会教育施設の利用料金、減免措置の適正化に努めます。

3) 身近な場での学習支援

市民の誰もがどこでも学習できるように、出前講座の充実など、より生活に近い場所での学習活動を支援します。

●出前講座の充実

【市の取り組み】

- ・市民による出前講座は、学習した者にとっては、やりがいのある社会還元の間として、また、学習者にとっては、学ぶきっかけづくり、身近な学習機会の支援として、さらに充実した講座になるように努めます。
- ・企業による出前講座を新設し、講座の充実に努めます。
- ・学習者がより利用しやすくするために、講座の内容、出前する地域などの情報の充実に努めます。
- ・市職員による出前講座は、市民が知りたい、聞きたい、学びたいという要求に応えることができるように、さらに充実した講座に努めます。

【市民に期待すること】

- ・様々なことに問題意識を持つなど学習意識を高め、各グループで積極的に出前講座を活用すること。



市職員による出前講座

(3) 情報提供の充実

現状からの課題

【ヒアリング結果から導き出された課題】

サークルやクラブの活動の活性化に向けて、サークルやクラブの活動情報、各ふれあいセンターなどでの活動情報の提供の充実が必要です。こうした情報提供により、有機的なネットワークの構築が求められています。

また、講師や指導者などの人材に関する情報提供が求められています。

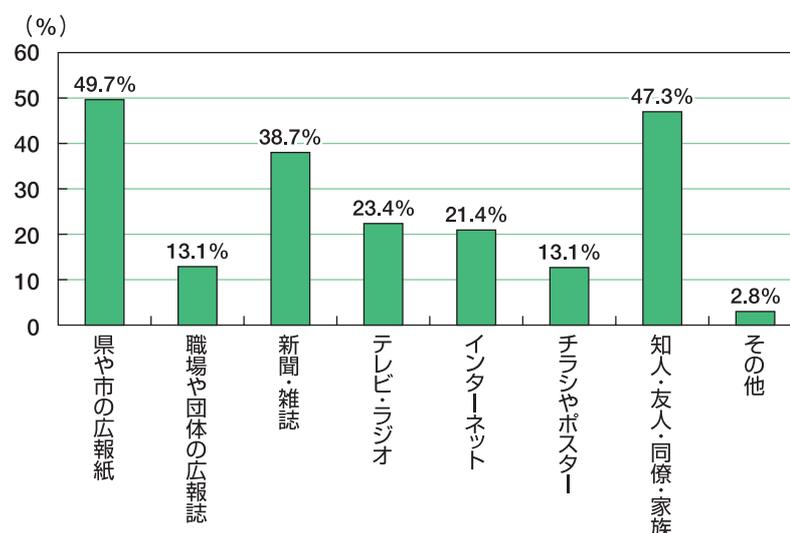
情報提供の手段としては、市町村合併に伴い、紙媒体による情報提供が制約されてきた面があり、それを補完する情報提供が必要となっています。その手段として、インターネットやケーブルテレビによる情報提供が注目されています。

さらに、各々の地域に根ざしたパンフレットによる情報提供も求められています。パンフレットやチラシについても、集客性のある施設で配布するなど、効果的な情報提供が必要です。

【アンケート調査結果から導き出された課題】

「広報せき」をはじめとした広報紙による情報提供の充実が求められています。情報の内容については、講座や教室の内容や開催状況、施設の内容や開設状況、サークルの活動状況や入会方法に関する情報提供や相談の充実が求められています。

一方、情報入手の手段としては、友人や知人からのクチコミが多く、こうしたクチコミによる情報提供を活用していく必要があります。



有効回答数：974件

図 情報の入手先

第3章 基本的な取り組み

1 学習機会の提供

学習を行っていない人は、学習成果の発表の場を知らない人が多く、学習成果の発表の場を周知していくことが、きっかけづくりとしての情報提供につながります。

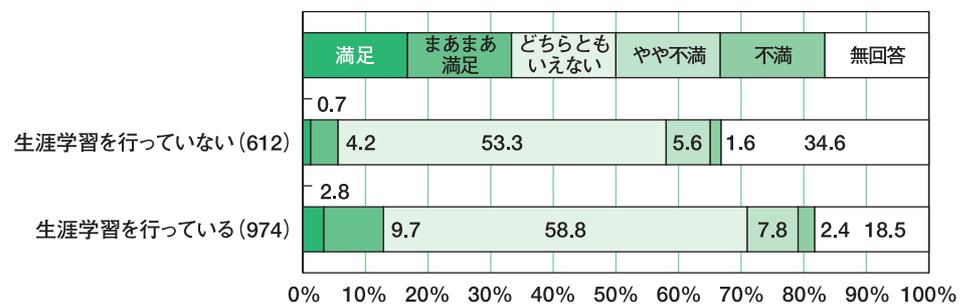


図 学んだことを発表できる機会に対する満足度

基本的方向

- 1) 様々な媒体を活用した情報提供
- 2) 様々な場での情報提供
- 3) 様々な機関の情報の共有

施策の展開

1) 様々な媒体を活用した情報提供

市民の誰もがどこでも生涯学習に関する情報が入手できるように、様々な媒体による情報提供を充実します。

●インターネット、ケーブルテレビを活用した情報提供

【市の取り組み】

- ・インターネット、ケーブルテレビを活用し、サークル活動などの活動状況の紹介に努めます。

【市民に期待すること】

- ・NPOなどが中心となって、インターネットを活用した情報交流を行うこと。

●「広報せき」による情報提供の充実

【市の取り組み】

- ・全市的に情報発信する必要がある地域情報を「広報せき」に掲載するなど、情報発信の充実に努めます。

【市民に期待すること】

- ・地域情報については、地域の様々な組織と連携を図り、地域情報を発信すること。



洞戸ネットサロン

●「学習情報提供システム（データバンク）」の整備

【市の取り組み】

- ・市民がいつでも、どこでも、幅広い情報を収集できるようにするため、関市における学習情報を集約し、インターネットで、地域格差のない、最新の情報を提供できるシステムの構築を推進します。
- ・関連機関などの持つ情報とリンクすることにより、幅広い学習情報を入手できるように努めます。
- ・「関市生涯学習 GUIDE BOOK」などの活字による情報提供も有効であることから、今後も継続するとともに、より多様な方法による情報の提供に努めます。



2) 様々な場での情報提供

市民の誰もがより身近な場で、生涯学習に関する情報が入手できるように、様々な場における情報提供を充実します。

●活動拠点における活動に関する情報提供

【市の取り組み】

- ・生涯学習センターやふれあいセンターなどで行われている生涯学習活動情報の提供を充実します。

【市民に期待すること】

- ・活動情報を積極的に情報発信すること。

●情報交流ひろばの創設

【市の取り組み】

- ・生涯学習センターやふれあいセンターなどに情報交流ひろばの創設に努めます。

【市民に期待すること】

- ・情報交流ひろばを活用して、サークルなど活動団体間の情報交流を行うこと。
- ・クチコミによる情報交流を広げること。

3) 様々な機関の情報の共有

市民のニーズにあった学習が提供できるように、生涯学習の様々な提供機関の情報共有を推進します。

●様々な機関の情報の共有

【市の取り組み】

- ・生涯学習を提供している様々な機関においての情報を共有し、より市民のニーズにあった学習提供に努めます。

(4) 指導者の育成

現状からの課題

【ヒアリング結果から導き出された課題】

講座や教室などの講師選定にあたって、単純に例年に従うなどの講師選定を是正し、ニーズ、今日的課題にあった講師選定が重要となっています。また、市内の指導者の新たな学習の機会として、市外からの人材も積極的に活用することも必要です。

自主的なサークル活動の講師などについては、特に旧町村の人口減少が著しい地区などにおいて、少人数化したサークルの講師料の負担が大きな問題となっています。

学習者のニーズにあった指導者の紹介などについて、生涯学習アドバイザーの活用に加え、コーディネーター力の向上が求められています。

基本的方向

- 1) 指導者の育成支援
- 2) 生涯学習コーディネーターによる支援

施策の展開

1) 指導者の育成支援

地域住民の持つ能力や知識を最大限に活かし、地域に根ざした指導者の育成に努めます。

●指導者の発掘、登録、紹介

【市の取り組み】

- ・地域住民の持つ能力や知識を最大限に活用するとともに、学習者が講師選定をする際の資料として提供する講師情報、学習ボランティア情報の整備を進めます。
- ・団塊世代などの培ってきた見識や能力を活かすように、協力してくれる人材情報の整備を進めます。



折り紙教室（濃州関所茶屋）

【市民に期待すること】

- ・地域に潜在する人材の情報提供に協力すること。
- ・学びや資格を活かし、積極的に講師として登録し、自らの学びを高めること。

●地域に応じた支援の充実

【市の取り組み】

- ・過疎化が進行した地域などにおける講師派遣などの支援策を検討します。

【市民に期待すること】

- ・隣接する地域におけるサークルとの連携など、講師料負担軽減に向けた取り組みに努めること。

2) 生涯学習コーディネーターによる支援

地域において、より円滑に生涯学習活動が行われるように、生涯学習コーディネーターの配置を進めます。

●生涯学習アドバイザーの活用、コーディネーターの養成

【市の取り組み】

- ・地域の生涯学習の振興を図る生涯学習推進員の配置を進めます。
- ・関市生涯学習推進ボランティア・アドバイザー協議会がコーディネート能力を発揮できるよう活動を支援します。

2 学習成果の発表・評価の場の提供

(1) 発表の場の充実

現状からの課題

【ヒアリング結果から導き出された課題】

生涯学習の発表の場は、学習者にとって、一つの目標であり、目標意識を持つ意味で重要な場です。

発表の場は様々ですが、地区公民館を発表の場に活用している地区や高齢者のサロン活動で発表しているサークルなどがあり、身近な地区や様々な集まりの場での発表を推進していく必要があります。

また、関市文化祭などは、文化会館などで行っていますが、上之保地域や板取地域の住民にとっては、そこへ行くだけで非常に時間がかかる、発表の準備が夜であるため、帰りが遅くなるなどの問題があります。一方、各地域でも文化祭や産業祭があり、こうした地域での発表の場と中央や他の地域での発表の場の連携が求められます。

【アンケート調査結果から導き出された課題】

学習を行っていない人は、学習成果の発表の場を知らない人が多く、生涯学習を普及啓発していく上でも、学習成果の発表の場をより広く周知していくことが重要です。

基本的方向

- 1) 全市的な発表の場の充実
- 2) 地域における発表の場の充実

施策の展開

1) 全市的な発表の場の充実

関市の中心的地域における全市的な発表の場を充実するとともに、市内のあらゆる地区からの参加を支援します。

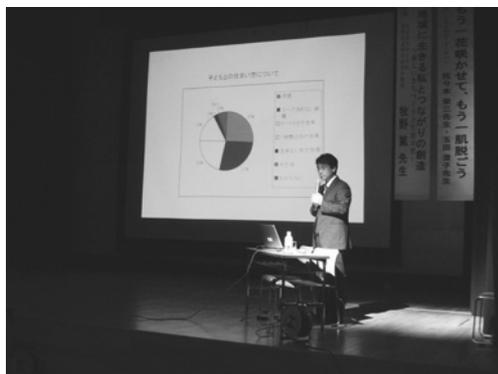
●中核的施設における発表の場の充実

【市の取り組み】

- ・関市生涯学習振興大会を通じて、地域住民が主役となった「生涯学習のまちづくり」のあり方を考えることができるよう、大会の充実に努めます。
- ・わかくさ・プラザのエントランスホールの壁面などを利用したサークル団体の発表の場への活用を推進します。
- ・SEKIいきいきフェスタなどへの参加について、旧町村地域の遠隔地に対する支援を検討します。

【市民に期待すること】

- ・SEKIいきいきフェスタや関市生涯学習振興大会などへの参加・見学を積極的に行うこと。



関市生涯学習振興大会



わかくさ・プラザ エントランスホール作品展

2) 地域における発表の場の充実

各地域の身近な場での発表の場を充実し、学習者と地域住民との交流を育みます。

●地域に根ざした場での発表の推進

【市の取り組み】

- ・社会教育施設において、施設の空きスペースなどを活用した作品展示の場の提供に努めます。

【市民に期待すること】

- ・地域における発表の場についてのアイデアを出し合うこと。

●市全体での発表の場と地域毎の発表の場の連携

【市の取り組み】

- ・関市文化祭など市全体での発表の場と地域の文化祭や産業祭など地域毎の発表の場との連携を強化し、より多くの人に参加できるように支援します。



せき・まちかど工房 ギャラリー



関にし秋の祭典(武芸川生涯学習センター)



若草アフタヌーン・コンサート

(2) 評価の充実

現状からの課題

【上位計画などからの課題】

生涯学習の発表の場の確保と同様に、学習者にとって、評価は目標意識を持つ意味で重要なことです。

一部の都道府県や市町村では、学習者がそれぞれの学習成果を記録し、社会的活動、進学、就職、転職、再就職などに活用していくための「生涯学習パスポート」（生涯学習記録票）を作成し、活用を図る取組が行われています。

生涯学習活動をより深く推進していく上で、こうした評価の仕組みづくりが必要です。

基本的方向

1) 学習成果の評価の仕組みづくり

施策の展開

1) 学習成果の評価の仕組みづくり

ステップアップ学習や学習成果を記録し、次に活かせる仕組みづくりを推進します。

●ステップアップ学習の推進

【市の取り組み】

- ・英語講座から英会話など、ステップアップ講座の提供に努めます。

【市民に期待すること】

- ・講座などを通して、学習意欲を高め、ステップアップをめざすこと。



円空さんに挑戦（やすらぎの郷）

● 「生涯学習パスポート」の検討

【市の取り組み】

- ・学習者がそれぞれの学習成果を記録し、社会的活動、進学、就職、転職、再就職などに活用していくための「生涯学習パスポート」（生涯学習記録票）の導入を検討します。



3 学習成果を活かす支援

(1) 職業能力の向上

現状からの課題

【アンケート調査結果から導き出された課題】

特に20歳代、30歳代の方は、職業上必要な知識・技能に関するものについて学習したい、と思っている人が多く、今後必要とされる学習についても、職業能力を身につける学習の提供が求められています。

今後、学びたい生涯学習の内容

(単位：%)

	有効回答数(件)	職業上必要な知識・技能に関するもの	家庭生活に役立つ知識・技能に関するもの	子育てに関するもの	ボランティア活動に必要な知識・技能に関するもの	趣味や芸術に関するもの	健康に関するもの	スポーツに関するもの	文学・思想・歴史などの文化や自然科学の教養に関するもの	情報化社会に対応するための技能や知識に関するもの	国際交流・国際理解に関するもの	その他	特になし
全体	1,659	19.2	21.0	8.0	11.4	30.0	35.7	19.3	11.2	22.6	10.2	3.0	14.8
20歳代	166	38.6	31.9	24.7	10.8	28.3	30.7	31.9	4.2	24.1	21.7	0.6	9.6
30歳代	239	40.6	29.7	23.0	10.0	33.1	32.2	39.7	7.5	30.5	14.6	2.9	5.4
40歳代	288	29.2	19.4	6.3	12.2	30.9	32.3	29.5	11.1	30.9	14.6	2.8	11.5
50歳代	323	13.9	18.3	2.2	16.4	35.3	39.6	13.3	13.9	26.6	10.5	1.5	13.9
60歳代	315	4.8	18.4	1.6	11.4	30.2	42.5	9.5	12.4	18.7	5.7	4.8	16.5
70歳以上	319	4.1	15.7	1.9	7.2	22.9	33.9	4.7	13.8	8.5	1.6	4.4	27.0

【上位計画などからの課題】

若者のフリーター・失業者などの雇用問題、さらには社会問題となっているニートへの対応が求められています。

基本的方向

- 1) 就業者に対する学習支援
- 2) 就業意欲の向上に向けた学習支援

施策の展開

1) 就業者に対する学習支援

生涯学習について企業に対して普及啓発するとともに、学習機会の提供を充実します。

●資格取得に向けた学習支援

【市の取り組み】

- ・資格取得につながる学習機会の充実に努めます。(再掲)

【市民に期待すること】

- ・主体的に学習に取り組むとともに、資格取得に向けた要望を積極的に発信すること。

●リカレント教育の充実

【市の取り組み】

- ・高等教育機関と連携し、市内の企業に対してリカレント教育の意義について普及啓発に努めます。
- ・高等教育機関と連携し、リカレント教育の充実に努めます。

【高等教育機関に期待すること】

- ・リカレント教育に積極的に取り組むこと。(再掲)
- ・リカレント教育の意義を積極的に普及啓発すること。(再掲)

【企業に期待すること】

- ・就業者の学習活動に対する理解をより深めること。

2) 就業意欲の向上に向けた学習支援

中央教育審議会による「青少年の意欲を高め、心と体の相伴った成長を促す方策について」の答申を踏まえつつ、ニート対策に向けた生涯学習の充実をめざします。

●ニート対策としての学習の提供

【市の取り組み】

- ・ニートが参加できるイベントなどを開催するとともに、学習につなげていく仕組みを検討します。
- ・家庭の教育力向上につながる講座や、地域が子育てを支援する学習を提供し、子どもの職業観を高めるよう努めます。

【企業に期待すること】

- ・職業観の醸成に向け、各中学校の「職場体験」などをさらに積極的に受け入れること。



包丁製造会社の見学

(2) 学習成果を活かす場の提供

現状からの課題

【ヒアリング結果から導き出された課題】

生涯学習の学習者の中には、資格を取るだけでなく、さらにレベルアップをめざしている人が多くいます。また、学んだことや資格を活かせる場の提供が求められています。

【上位計画などからの課題】

学校での社会人講師、社会人向けの講座の講師、子育て支援や介護などでのボランティア、行政や公民館、関係機関・団体などが行う事業への参画、企業内での活用や起業など、学習成果を地域社会に還元し、地域の活性化や発展につなげるのが重要です。

基本的方向

1) 学習成果を活かす仕組みづくり

施策の展開

1) 学習成果を活かす仕組みづくり

生涯学習活動において目的意識を高め、生き生きとした学習活動を展開するとともに、学んだことを地域に還元し、学習成果を活かすための仕組みを構築します。

●学習修了者の登録制度の検討

【市の取り組み】

- ・学習成果を活かすため、学習修了者の登録制度を検討します。

【市民に期待すること】

- ・学習したことの社会還元に対する意識を高め、学習修了者の登録制度を活用すること。

●ボランティア活動への活用

【市の取り組み】

- ・図書館などにおける読書活動を支援するボランティアなど、学習成果を活かしたボランティア活動を支援します。
- ・市民による市民のための生涯学習を進めるために、市民の方々が学習成果として身につけた知識や技能の活用を図るための場の創設と学習支援に努めます。

【市民に期待すること】

- ・ボランティア活動に対する意識を高め、学習成果を活かすこと。



養護老人ホームでの演奏（松風園）



図書館ボランティア養成講座

4 まちづくりに活かす支援

(1) 市民活動へつなげる支援（目的型コミュニティ）

現状からの課題

【ヒアリング結果から導き出された課題】

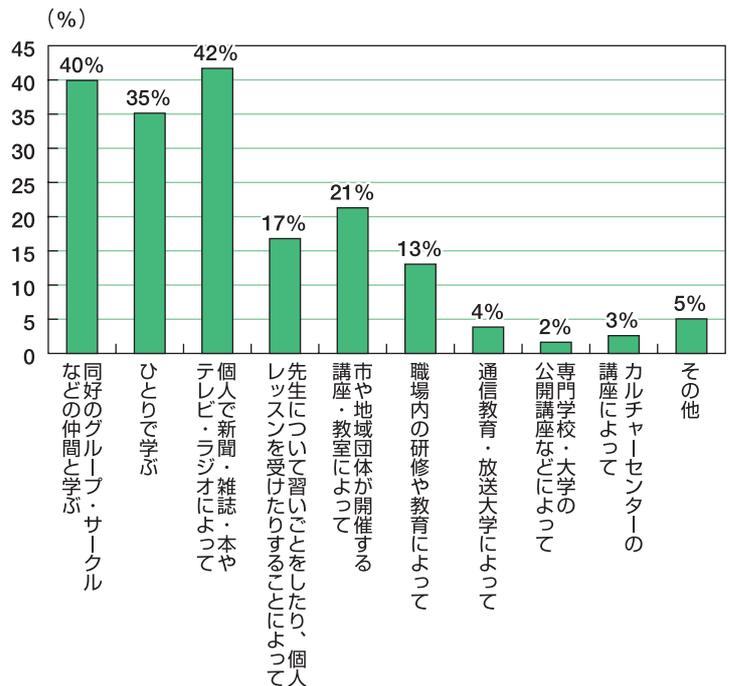
生涯学習を市民活動につなげていくための手段の1つとして、イベントなどを通して学習者と地域住民との交流を持つことが挙げられます。そのため、イベントを行いやすい環境づくりが大切です。

また、自発的な活動のみで続けることは限界があり、活動がマンネリ化してしまうことが懸念されます。マンネリ化を防ぐための助言や指導が求められます。

市民活動を行っている団体に対する補助金などについて、一律に行うのではなく、活動に併せた配分が求められています。

【アンケート調査結果から導き出された課題】

生涯学習を行っている形態は、グループやサークルなどの仲間と学ぶことが多くなっています。こうしたサークル活動などが市民活動に展開していくためには、サークル活動などの自主的な学習の一層の推進が重要です。



有効回答数：974件

図 生涯学習を行っている形態

【上位計画などからの課題】

市内のふれあいセンターなどにおいては、様々な地域活動が展開されています。こうした活動を一層推進していくために、モデル事業などを実施し、普及啓発を行っていくことが求められます。

基本的方向

- 1) より効果的な支援
- 2) 活動の推進

施策の展開

1) より効果的な支援

生涯学習活動が市民活動につながるように、相談支援や活動助成など、より効果的な支援に努めます。

●活動に関する相談支援の充実

【市の取り組み】

- ・指導者や講座情報などのデータを整備するなど、学習相談環境の充実を図るとともに、関市生涯学習推進ボランティア・アドバイザー協議会と連携・協力して、学習相談の充実に努めます。
- ・住民自身の自主的な講座展開を図っていくコーディネート能力をさらに発揮できるよう支援します。

【市民に期待すること】

- ・活動者同士の相談支援ができるように、活動団体間の交流を深めること。



学習相談

(関市生涯学習推進ボランティア・アドバイザー協議会)

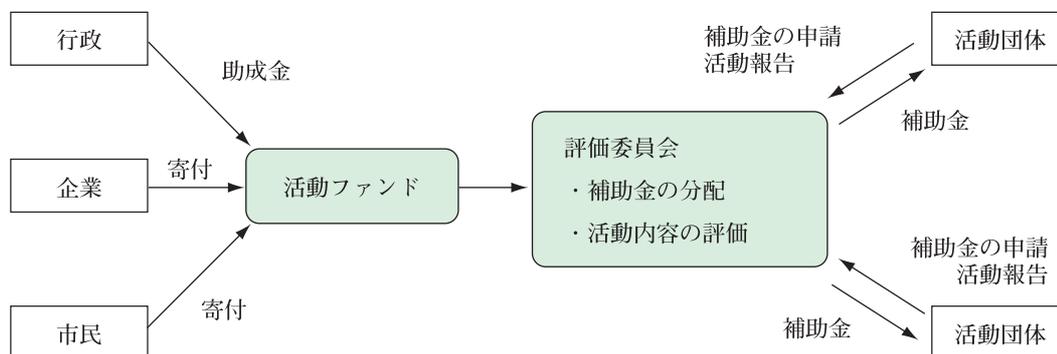
●活動内容にあった補助金のあり方の検討

【市の取り組み】

- ・活動補助金にファンド形式を取り入れ、開かれた評議会などで活動の評価し、補助金を分配する仕組みを検討します。

【市民に期待すること】

- ・地域課題、住民ニーズに対して自発的に行動を起こし、補助金を有効に活かす活動を進めること。



補助金ファンド形式のイメージ

2) 活動の推進

市民活動を行いやすい環境づくりを推進するとともに、モデル事業の相乗効果による活動の普及啓発を図ります。

●社会教育団体の育成と連携

【市の取り組み】

- ・市内の様々な社会教育団体の育成に資する支援に努めます。
- ・市内で活動している社会教育団体との連携を強化し、効果的な生涯学習活動の支援に努めます。

【社会教育団体に期待すること】

- ・より主体的自立的な活動をめざすとともに、「新しい公共」を形成する視点からも取り組むこと。



日本刀入門講座

●自主的な活動やイベントが行いやすい環境づくり

【市の取り組み】

- ・サークル団体が、通常のサークル活動を越えて、関市の生涯学習の振興、まちづくりに活かすための活動などに対して、活動を支援する仕組みを検討します。
- ・学習機会の提供や指導者の紹介など、学習活動の充実や活性化に向けた支援に努めます。

【市民に期待すること】

- ・市民活動に対する理解を深めること。

●モデル事業の展開

【市の取り組み】

- ・生涯学習を活かした市民活動について、モデル的な活動を選定し、重点的な支援を図ることにより、これを呼び水として活動が広がるよう努めます。
- ・モデル事業の活動状況の周知に努めます。

【市民に期待すること】

- ・モデル事業例を参考に、より活発な活動をめざすこと。

(2) 地域づくりへつなげる支援（地域型コミュニティ）

現状からの課題

【ヒアリング結果から導き出された課題】

学習成果を活かして、小中学校の総合的な学習の時間などにおいて、児童・生徒に伝えていくなど、地域の小中学校と交流を持つことは、地域づくりにつなげるために重要なことです。

また、地域から学校に様々な取り組みを提案し、地域と学校が連携した地域づくりに展開していくことが望まれます。さらに、学校のみでなく、ふるさと教育や地域の教育力を活かした学習活動づくりが望まれます。

【アンケート調査結果から導き出された課題】

日常において比較的時間の自由がある人においては、学習したことを社会福祉活動、地域づくりやまちづくりに関する活動に役立てたいと考えている人が多く、こうしたニーズを活かしていくための支援が求められます。

学んだことを役立てたいこと

(単位：%)

	有効回答数 (件)	市民や子どもの学習の指導や手伝い	各種事業への参加や企画活動	仕事や就職	資格取得	社会福祉活動	広く地域づくりやまちづくりに関する活動	自分や家族の教養・生活の向上	その他	役立てるつもりはない	無回答
全体	974	12.7	11.9	26.0	12.0	14.0	11.7	56.6	6.3	8.7	3.3
農林漁業	28	3.6	7.1	17.9	3.6	28.6	25.0	39.3	0.0	14.3	3.6
自営業	141	12.1	13.5	25.5	5.0	13.5	13.5	52.5	4.3	9.2	4.3
会社員・公務員	296	14.2	10.1	44.3	20.9	10.1	7.8	56.1	4.4	9.1	2.0
パート・アルバイト	128	12.5	14.8	28.9	16.4	13.3	7.0	56.3	7.0	6.3	5.5
専業主婦・主夫	154	13.6	17.5	5.2	6.5	15.6	11.7	69.5	4.5	5.8	2.6
学生	13	0.0	0.0	76.9	46.2	0.0	7.7	38.5	0.0	7.7	7.7
無職	167	13.2	9.0	6.6	3.6	20.4	18.6	55.7	10.8	10.2	3.0
その他	46	10.9	8.7	32.6	8.7	8.7	13.0	50.0	15.2	13.0	4.3

【上位計画などからの課題】

地域のつながりの希薄化などにより、地域の教育力が低下しており、地域で子どもたちを見守る力の向上などへの対応が求められます。

基本的方向

- 1) 地域交流の推進
- 2) コーディネート機能の充実
- 3) 地域活性化に向けた支援

施策の展開**1) 地域交流の推進**

生涯学習活動団体と地域との交流を深め、学んだことを地域づくりに活かすための環境づくりを推進します。

●地域のイベント（発表会）を通じた地域住民の交流**【市の取り組み】**

- ・地域のイベント（発表会）の広報や周知を強化し、より多くの地域住民の参加を促進します。

【市民に期待すること】

- ・地域のイベント（発表会）に声を掛け合って参加すること。

●地域の地縁組織（自治会など）との交流**【市の取り組み】**

- ・市民活動団体と自治会の共同開催によるイベント企画を促進します。

【市民に期待すること】

- ・自治会との連携を高め、地域の文化の継承、地域づくりなどの活動を推進すること。

2) コーディネート機能の充実

生涯学習活動者が、学んだことを地域づくりにつなげていくためのコーディネート機能を充実します。

●学校とのコーディネート機能の充実

【市の取り組み】

- ・学校と地域の連携・協力を推進し、学社融合をめざします。
- ・生涯学習相談員や生涯学習推進員を中心として、地域と学校のコーディネート機能を充実します。

【市民に期待すること】

- ・小中学校の総合的な学習の時間などを活用した地域との連携に努めること。

●地域づくりにつなげるためのコーディネート機能の充実

【市の取り組み】

- ・地域活動のリーダーとなる人材の育成に努めます。
- ・生涯学習センターやふれあいセンターを核とした地域活動を推進します。

【市民に期待すること】

- ・地域に潜在する人材の情報提供に協力すること。(再掲)
- ・学びや資格を活かし、積極的に講師として登録し、自らの学びを高めること(再掲)



凧づくり (下有知小学校)

3) 地域活性化に向けた支援

生涯学習活動者が、学んだことを地域づくりにつなげ、さらに地域の活性化に向けた活動を支援します。

●まちおこし活動につなげるための支援

【市の取り組み】

- ・地域行事と学習活動の発表の場の連携に努めます。
- ・地域課題の発見やその解決に向けた学習の場を持つように努めます。

【市民に期待すること】

- ・学んだことを地域づくりにつなげる意識を高めること。

●NPO法人の設立支援

【市の取り組み】

- ・ぎふNPOセンターとの連携を図り、NPOの相談窓口の設置に努めます。

【市民に期待すること】

- ・NPOについての理解を深めること。



ムーンライトコンサート（高澤観音）



池干しによる外来魚駆除

(3) まちづくりにつなげる仕組みづくり

現状からの課題

【ヒアリング結果から導き出された課題】

まちづくりにつなげる仕組みづくりの第一歩として、各生涯学習活動団体のネットワークを構築することが大切です。

市町村合併により、現在の関市が誕生したのですが、旧町村地域単位の活動が多く、その範囲を超えた活動は少ないのが現状です。こうした合併前の垣根をなくし、より幅広い活動を推進していく必要があります。

また、旧関市においては、ふれあいセンターを核とした地域づくり（まちづくり）活動が行われています。こうした活動を旧町村地域に広めていく必要があります。

【上位計画などからの課題】

産業におけるグローバル化による産業の空洞化に対して、地場産業の活性化、中心市街地の活性化などへの対応が求められています。

また、少子高齢化などにより、地域社会の活力が低下しつつあり、関市においても、旧町村地域を中心に顕著な傾向がみられます。こうした中で、地域の活力の向上に向けた取り組みが期待されています。

そうした中で、地域力の向上が重要であり、公民館などについては、人間力向上などを中心としたコミュニティのためのサービスを総合的に提供する拠点としての役割が求められています。

基本的方向

- 1) 拠点施設を核としたまちづくり活動の推進
- 2) まちづくりネットワークの構築

施策の展開

1) 拠点施設を核としたまちづくり活動の推進

生涯学習センターやふれあいセンターなどを拠点とした地域のまちづくり活動を推進します。

●生涯学習センター、ふれあいセンターなどを核としたまちづくりの推進

【市の取り組み】

- ・旧町村地域において、生涯学習センター内に、ふれあいのまちづくり推進委員会の設立を進め、全市的なネットワークの構築を推進します。
- ・わかくさ・プラザは、従来の機能を基本に、時代の変化に対応した市民の自主的な学習活動が活発に行われる施設にするとともに、生涯学習センターやふれあいセンターをはじめとする生涯学習施設間のネットワークの中で、中心的な役割を果たします。



旭ヶ丘ふれあいまつり（旭ヶ丘ふれあいセンター）

【市民に期待すること】

- ・生涯学習センターやふれあいセンターなどを活用し、まちづくり活動への意識を高めること。

2) まちづくりネットワークの構築

地域で様々な活動を行っている活動団体間のネットワークを構築し、地域のまちづくりへつなげていきます。

●各活動団体間のネットワークの構築支援

【市の取り組み】

- ・各活動団体間の交流の場の提供に努めます。
- ・各活動団体間の情報交換や協働活動により、各団体の活動がより活発に、より効果的に行われるように努めます。

【市民に期待すること】

- ・各活動団体間の交流に積極的に参加すること。